

別紙

第 59 回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分科会名	第 1 分科会	演題番号	119
題名	新型コロナウイルス PCR 検査における Ct 値とウイルス分離の相関についての検討		
所属	株式会社 中部衛生検査センター		
氏名	○山本 信行、長澤 峻、及川 和樹、井上 大悟、紅林 千絵、森 健、小澤 一弘		
要旨 (簡潔に)	<p>厚生労働省などによると新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は Ct 値 30 以上の場合は感染力が低下、またはほぼ無くなると報告されている。この為、オミクロン株(BA.1)流行時における qPCR 法陽性検体を使用し、ウイルス分離培養試験を行った。</p> <p>培養試験の結果、感染性が低下するとされている Ct 値 30 以上の検体においても 40%以上が分離培養陽性となった。</p> <p>このことから、Ct 値が高値であっても一定の割合で感染力を保有することが示唆された。</p> <p>なお、当センターにおいて得られる患者情報は氏名、性別、年齢、生年月日、検体採取日、検体の種類のみで発症日からの日数は不明であり、今後、症状のステージ等も考慮する必要がある。</p>		